

# NEWS ふれ愛

編集・発行 / 原口良一後援会 狭山1丁目2350番地(30号) 072-365-4032



10月6日(木)、新政さやま主催の市政報告会、タウンミーティングが開催されました。

新政さやまは原口良一市議、一村達子市議、井上健太郎市議の3市議による市議会会派。当日は約30名のご参加をいただき、大阪狭

山市の財政状況をご報告し、それを踏まえて参加者のご意見を賜りました。

タウンミーティングでは率直なご意見を伺いました。この貴重なご意見をしっかりと受け止め、市民とともに街づくりを進めます。

まず、隗より始めよ。議員数の削減や職員給与の削減など、自分のことを改めた上で市民の協力を仰ぐという姿勢が必要。市の良いところも悪いところもさらけ出し、市民にも危機感を訴えよ。ボランティアを組織してもほったらかし。ネットワークづくりをなぜしないのか。審議会は行政の隠れ蓑に。市民代

## タウンミーティングでの発言から

表は行政が選ぶだけでなく、本当に市民の声が反映する審議会にすべき。財政難で市民活動助成は減らされているのに、職員が多すぎる。職員は有償なのに協力しない。市民は自腹も覚悟だ。協働といわれて安請け合いをしない。市民はこう協力するから、市はどうするのかと、お互いの分担を確認すべき。

# 市民と市街づくり

## 新政さやまがタウンミーティングを開催

### 衆議院選挙を終えて

9月11日投票の第44回衆議院議員総選挙では、自民党が296議席を獲得し、公明党を合わせた与党で327議席と圧勝しました。

今回の総選挙で特徴的なことは、投票率が近年になく上昇したことで、大阪府で65%を超え、大阪狭山市では68%近くに達しました。

政治参加の基本は投票に行くことであり、これからも投票率の向上に向けた取り組みが必要です。そのために、原口議員は、投票所の増設と投票、開票の事務に市民参加を進めることを質問しました。現在、19年度の統一

大阪第15区選挙結果

竹本直一(自)	144,663
さかいゆき(民)	82,844
中野好博(共)	31,810

地方選挙から実施できるよう、調整がすすめられています。

6月に発表された政府税制調査会の「個人所得課税に関する論点整理」は、給与所得控除の縮小廃止や配偶者控除・扶養控除の廃止

など、サラリーマン世代への大増税を打ち出しています。すでに昨年からの配偶者特別控除が廃止され、公的年金控除の縮小や

老年者控除の廃止で、来年の申告で増税となる高齢者世帯が続出しそうです。また、消費税では売上1千万円以上の事業

者にも消費税が課税され、来年の申告から納税しなければなりません。新たな課税事業者の方の簡易課税の選択も年内が期限です。



# サラリーマン増税を狙う政府税調報告

## 零細事業者も来年の申告から消費税を納税

### 訃報

故上田卓三 会長を偲ぶ

元衆議院議員でテイグレ(旧中企連)会長の上田卓三さんが5月26日に亡くなられた。



これまでの、またこれからの政治の指導者として尊敬していただだけに、早すぎる訃報は残念至極であります。平和と人権、限りなき前進の志を受け継いで行きます。